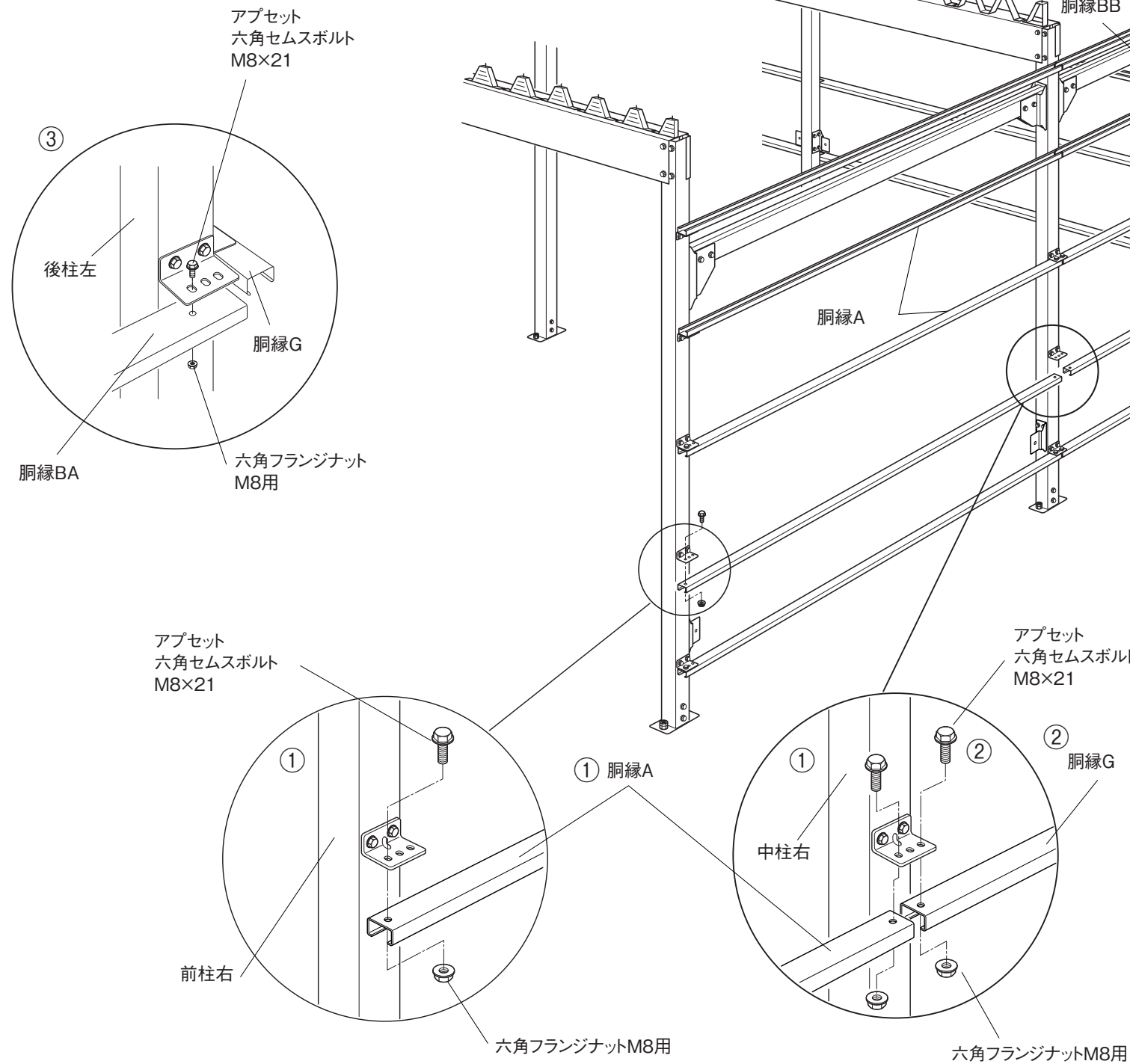
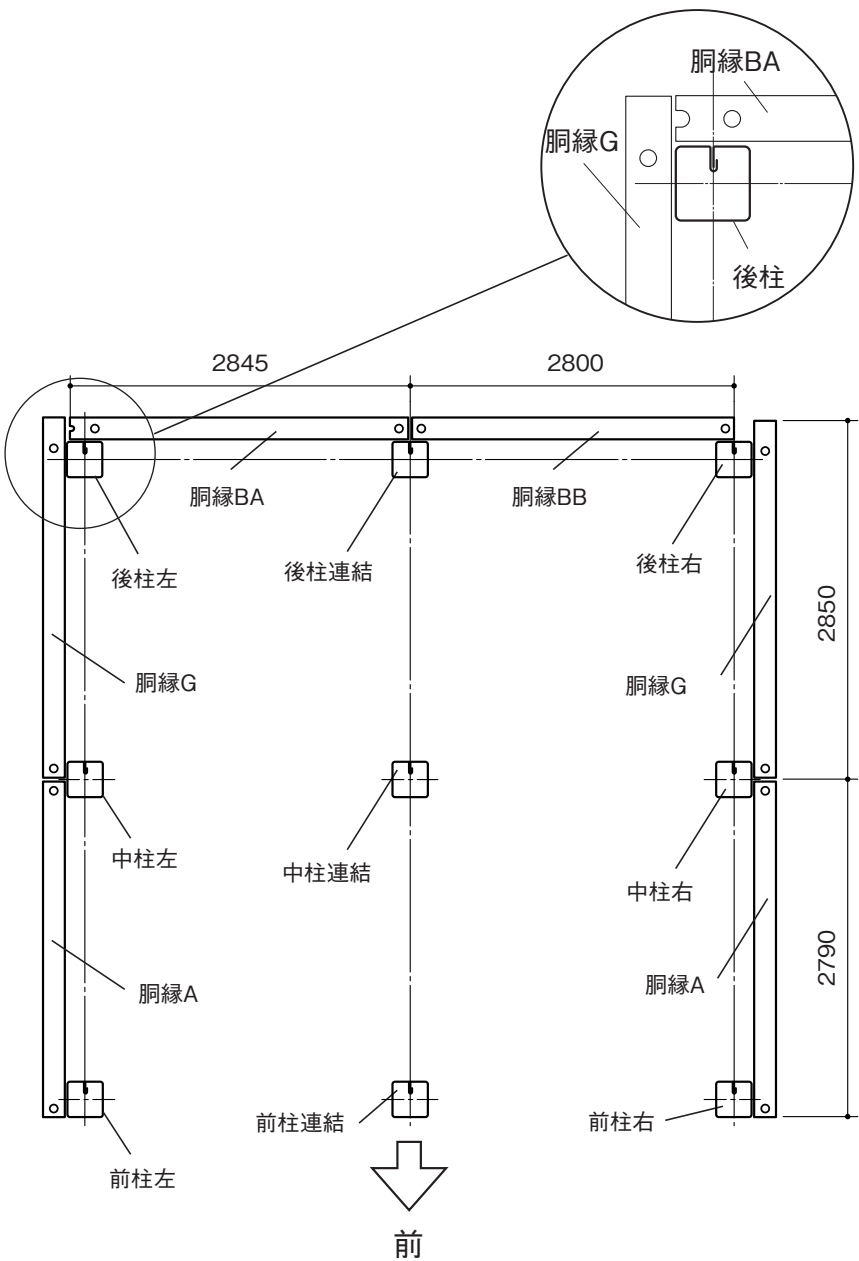


6 胴縁

注意 胴縁は、この時点では仮止めで固定します。
屋根をのせ、建ちを調整してから本締めします。

- ①胴縁Aを側面の前柱と中柱の胴縁金具に取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
 - ②胴縁Gを側面の中柱と後柱の胴縁金具に取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
 - ③胴縁BAを後面の胴縁金具に取り付けます。
(連結の場合は、正面向かって左より胴縁BA→胴縁BBの順に取り付けます。)
- この時、半円の切り欠きがある方を左端にくるように取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
- ※**胴縁A・G・BA・BBは、長さ**と**孔位置**が**違いますので間違わないように確認してください。**
※**胴縁は、1～3段目は下向きに、4段目以上は上向きに取り付けます。**



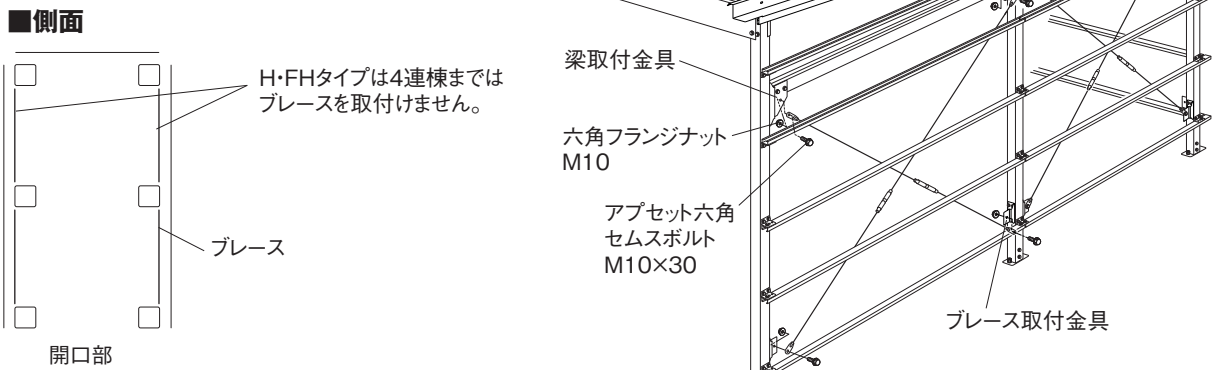
■胴縁本数		
	側面	後面
Lタイプ	4本	4本
Mタイプ	5本	4本
H-FHタイプ	6本	5本

8 ブレース

※**全てのブレースを取り付ける事により、建築基準法上の風荷重・地震荷重に耐える構造となっていますので、必ず全てのブレースを取り付けてください。**

側面ブレースの取付

- ①ブレースを側面前の梁取付金具とブレース取付金具に取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM10×30、六角フランジナットM10用)
- ※**Hタイプ・FHタイプは、ブレースが太く(10.7φ)なります。**
(六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用、六角フランジナットM12用)
- ※**側面にオプション框ドア・引戸・補助ドアが付く場合は、ブレースの取付け位置を変更する必要がありますので、次の[オプション框ドア・引戸・補助ドアを取付ける場合]を先に確認してください。**



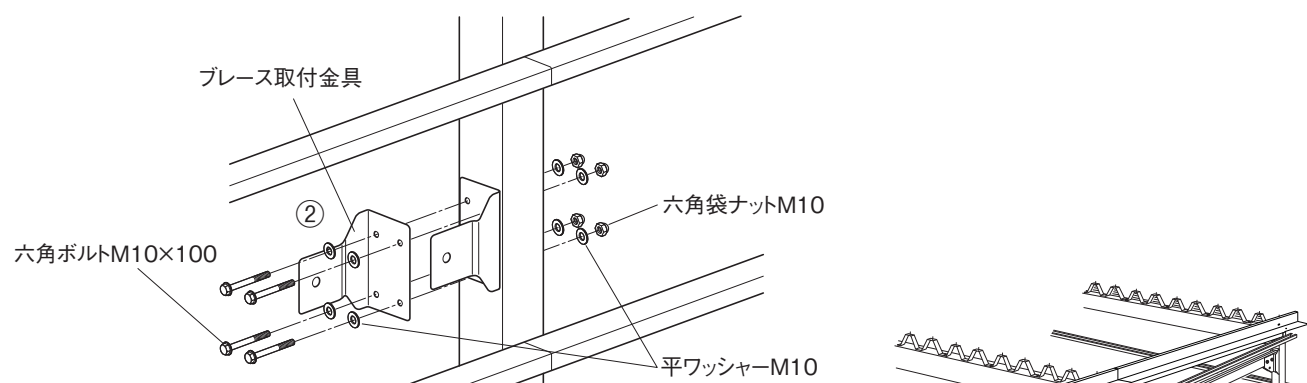
■SOB-3057型側面ブレース配置表

機種	Lタイプ		Mタイプ		ブレース径
	NA・B-L ℓ=3015mm ℓ ₁ =1080mm + ℓ ₂ =1875mm	NA・B-M ℓ=3310mm ℓ ₁ =1080mm + ℓ ₂ =2170mm			
単様	○	○	○	○	7.0φ
2連様	○	○	○	○	7.0φ
3連様	○	○	○	○	7.0φ
4連様	○	○	○	○	7.0φ
5連様以上	○	○	○	○	7.0φ

○:必要 ×:不要

オプション框ドア・引戸・補助ドアを取付ける場合

- ※**側面にオプション框ドア・引戸・補助ドアを取付ける場合、ブレースの取付け位置を変更します。**
(後面にはオプション框ドア・引戸・補助ドアは付きません。)
- ①開口部を取付ける側のブレース取付金具を外します。
 - ②外したブレース取付金具を開口部を取付けたい側のブレース取付金具と一緒に向かい合わせで取付けます。又、ブレース取付金具を外したところには、再度ボルトのみを取付け、柱の孔を隠します。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)



- ③ブレースを2組(4セット)、それぞれ室内側・室外側の梁取付金具とブレース取付金具に取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM10×30、六角フランジナットM10用)

後面ブレースの取付

- ①ブレースを柱上部のブレース取付金具と柱下部のブレース取付金具に取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM10×30、六角フランジナットM10用)
- ※**Lタイプ・Mタイプの単様及びHタイプ・FHタイプは、ブレースが太く(10.7φ)なります。**
(六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用、六角フランジナットM12用)



■SOB-3057型後面ブレース配置表

機種	Lタイプ	Mタイプ	ブレース径
	SA・B-L ℓ=3015mm ℓ ₁ =1080mm + ℓ ₂ =1845mm	SA・B-M ℓ=3310mm ℓ ₁ =1080mm + ℓ ₂ =2140mm	
単様	○	○	10.7φ
2連様以上	○	○	7.0φ

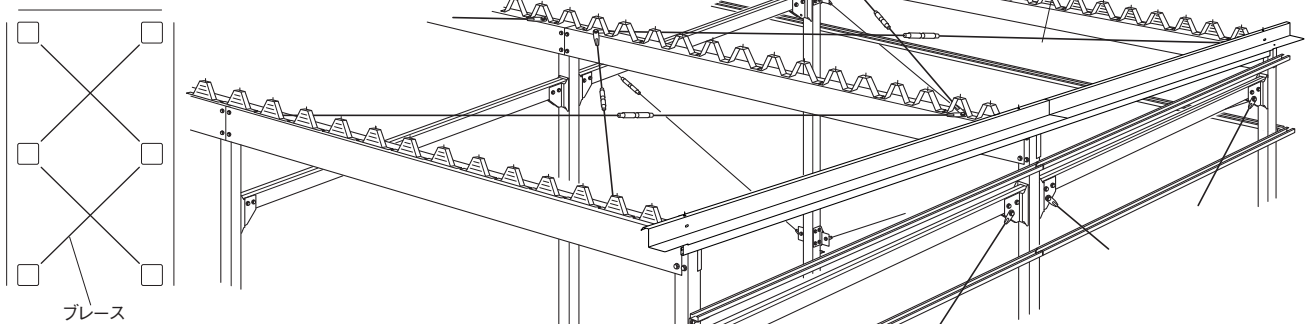
○:必要 ×:不要

※Lタイプ・Mタイプの2連様以上の場合は側面ブレースと同じ、NA・B-L、NA・B-Mになります。

屋根ブレースの取付

- ①ブレースを全ての桁間に取付けます。
(アプセット六角セムスボルトM10×30、六角フランジナットM10用)

■屋根面



■SOB-3057型屋根面ブレース配置表

機種	Lタイプ		Mタイプ		H・FHタイプ		ブレース径
	NC ℓ=3635mm ℓ ₁ =1080mm + ℓ ₂ =2495mm	NC ℓ=3635mm ℓ ₁ =1080mm + ℓ ₂ =2495mm	NC ℓ=3635mm ℓ ₁ =1080mm + ℓ ₂ =2495mm	NC ℓ=3635mm ℓ ₁ =1080mm + ℓ ₂ =2495mm	NC ℓ=3635mm ℓ ₁ =1080mm + ℓ ₂ =2495mm	NC ℓ=3635mm ℓ ₁ =1080mm + ℓ ₂ =2495mm	
連様数	前	後	前	後	前	後	7.0φ
	○	○	○	○	○	○	

○:必要 ×:不要

中間ブレースの取付

- ※**連様数により強度を確保するため、連結部分にブレースを2組(4セット)取付ける必要があります。必要数は下記の表で確認してください。また、中間ブレースは、ブレースで区切られた面積が均等になるように配置してください。**

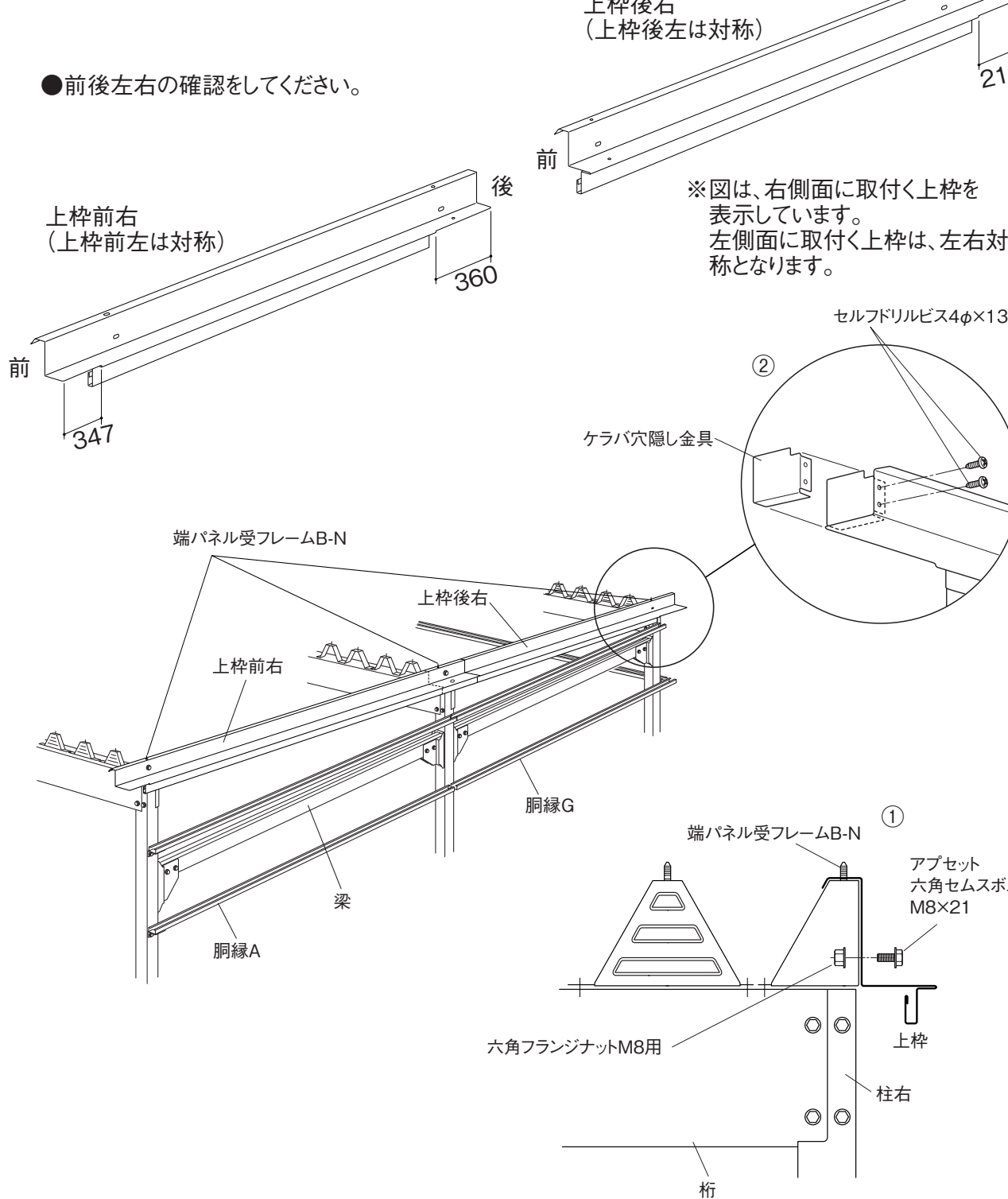
■SOB-3057型連結部ブレース配置表

機種 連様数	Lタイプ		Mタイプ		ブレース径
	NA・B-L ℓ=3015mm ℓ ₁ =1080mm + ℓ ₂ =1875mm		NA・B-M ℓ=3310mm ℓ ₁ =1080mm + ℓ ₂ =2170mm		
	必要本数	必要箇所	必要本数	必要箇所	
5連様まで	0	0	0	0	7.0φ
6連様	0	0	4	1	7.0φ
7連様	4	1	4	1	7.0φ
8連様	4	1	8	2	7.0φ
9連様	4	1	8	2	7.0φ
10連様	8	2	8	2	7.0φ
11連様	8	2	12	3	7.0φ
12連様	8	2	12	3	7.0φ

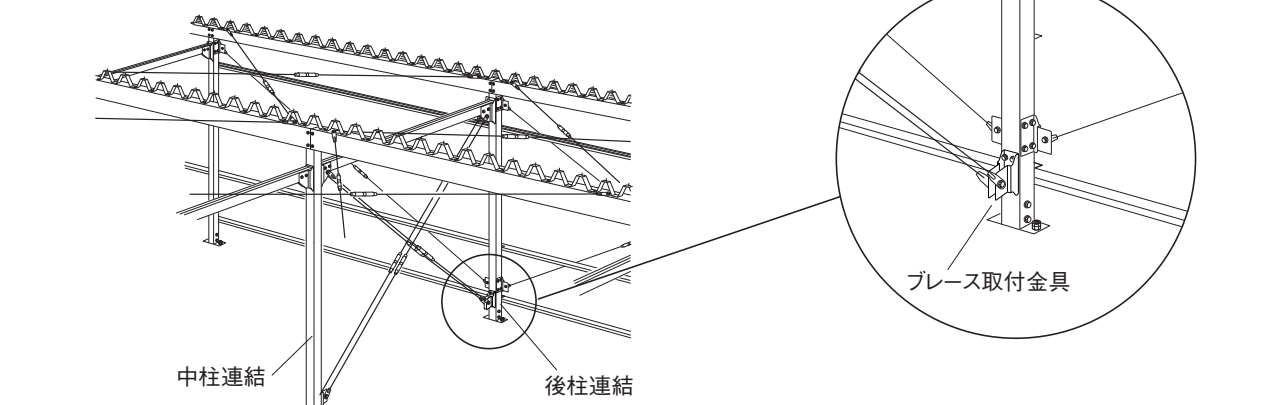
機種 連様数	H-FHタイプ		ブレース径
	SA-H ℓ=3545mm (ℓ ₁ =1080mm) + (ℓ ₂ =2375mm)		
5連様まで	0	0	10.7φ
6連様	4	1	10.7φ
7連様	4	1	10.7φ
8連様	8	2	10.7φ
9連様	8	2	10.7φ
10連様	8	2	10.7φ
11連様	8	2	10.7φ
12連様	8	2	10.7φ

7 上枠

- ①上枠後を端パネル受フレームB-Nの剣先に入れ、その上から上枠前を重ねて下図の様に取付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
- ②ケラバ穴隠し金具を上枠後に取付けます。
(セルフドリルビス4φ×13)

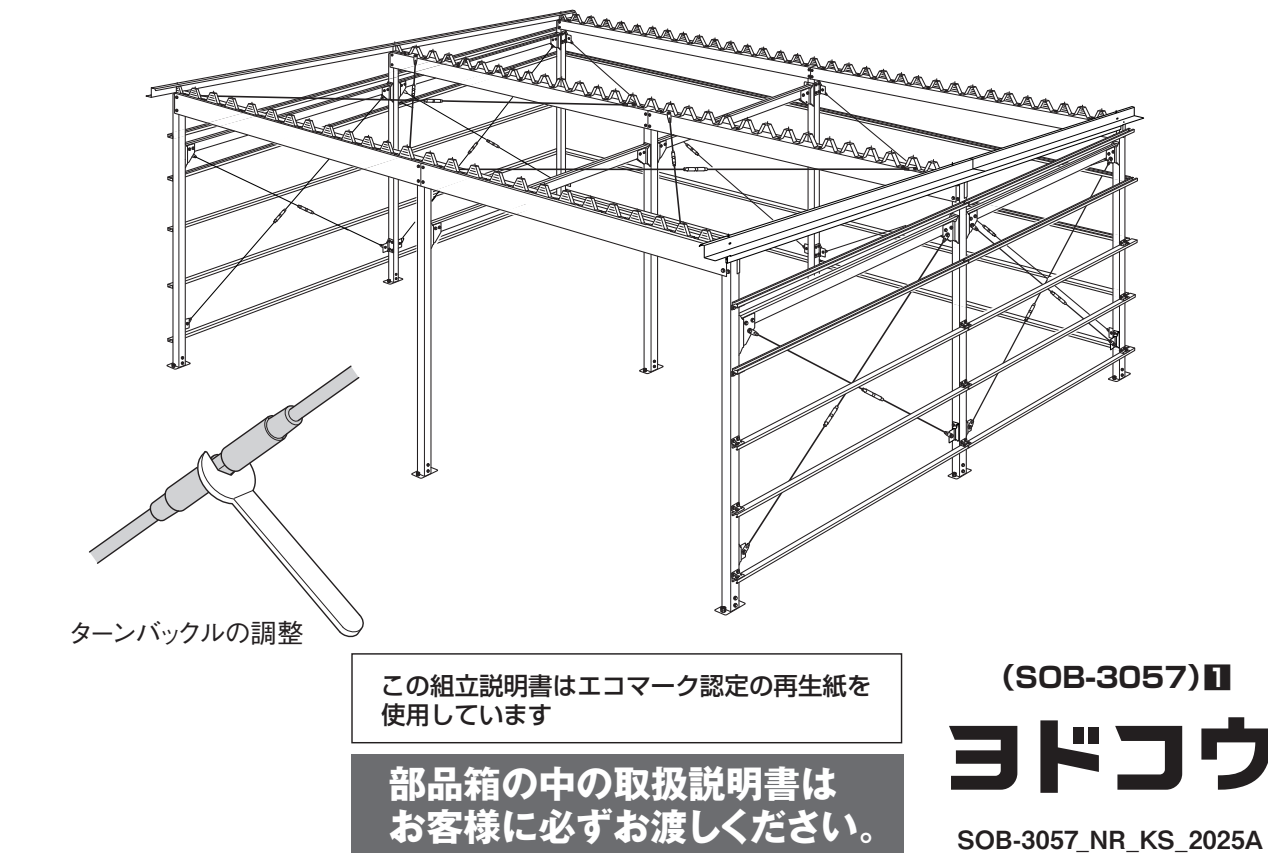


- ①中(前)柱連結・後(中)柱連結の足元にブレース取付金具を向かい合せて取付けます。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)
- ②ブレースを梁取付金具とブレース取付金具に取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM10×30、六角フランジナットM10用)



ブレースの取付確認

- ①下図の様にターンバックルで調整し、倒れ、通り、対角等を正確に出してください。
(今後の組立に支障がでます。)
- ※**屋根をのせた後も調整が必要です。**
※**柱の傾きが5mmを超えるとシャッターの開閉に、支障をきたす場合がありますのでサゲフリ等で寸法の確認を必ず行なってください。**



ヨド倉庫

組立説明書 2

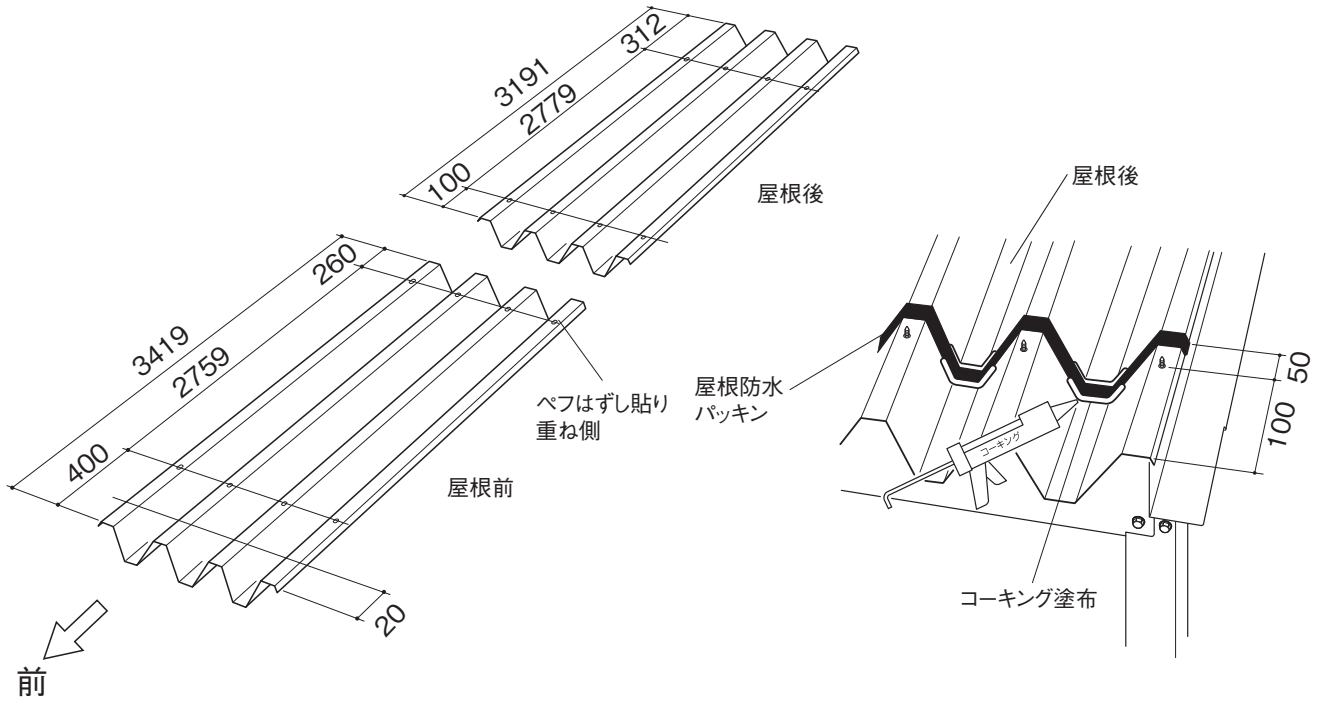
SOB-3057型 (L)・(M)・(H)・(FH)



※本説明書はSOB-3057Mの2連棟を基に説明しております。
※組立説明書Ⅰ・Ⅱの順で組立てください。
※下屋付きの場合は本説明書と「ヨド倉庫下屋」の組立説明書を参照して組み立ててください。

9 屋根及びケラバ接続金具

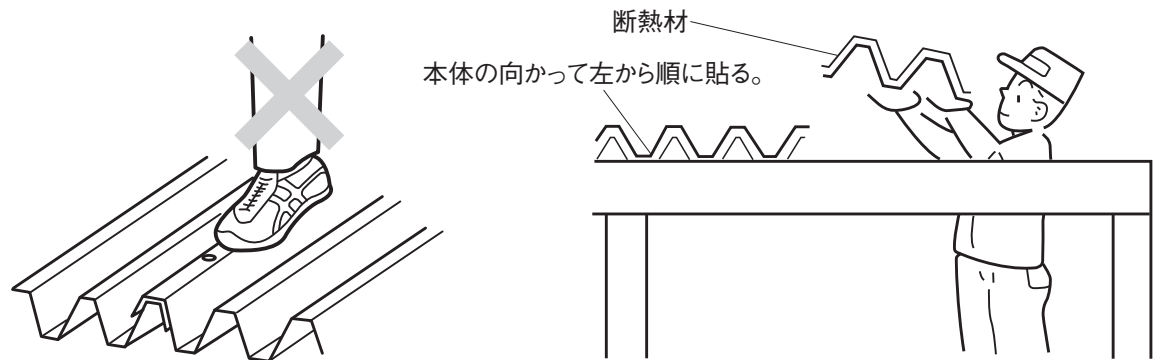
- 屋根後をパネル受フレームの剣先ボルトに通してのせます。
- 屋根後をのせ終わったら、図のように屋根防水パッキンを取り付け谷部をコーキングします。



▶屋根は前と後の2分割になっていますので、屋根の重ね部には、防水パッキン、コーキングを**必ず**施してください。

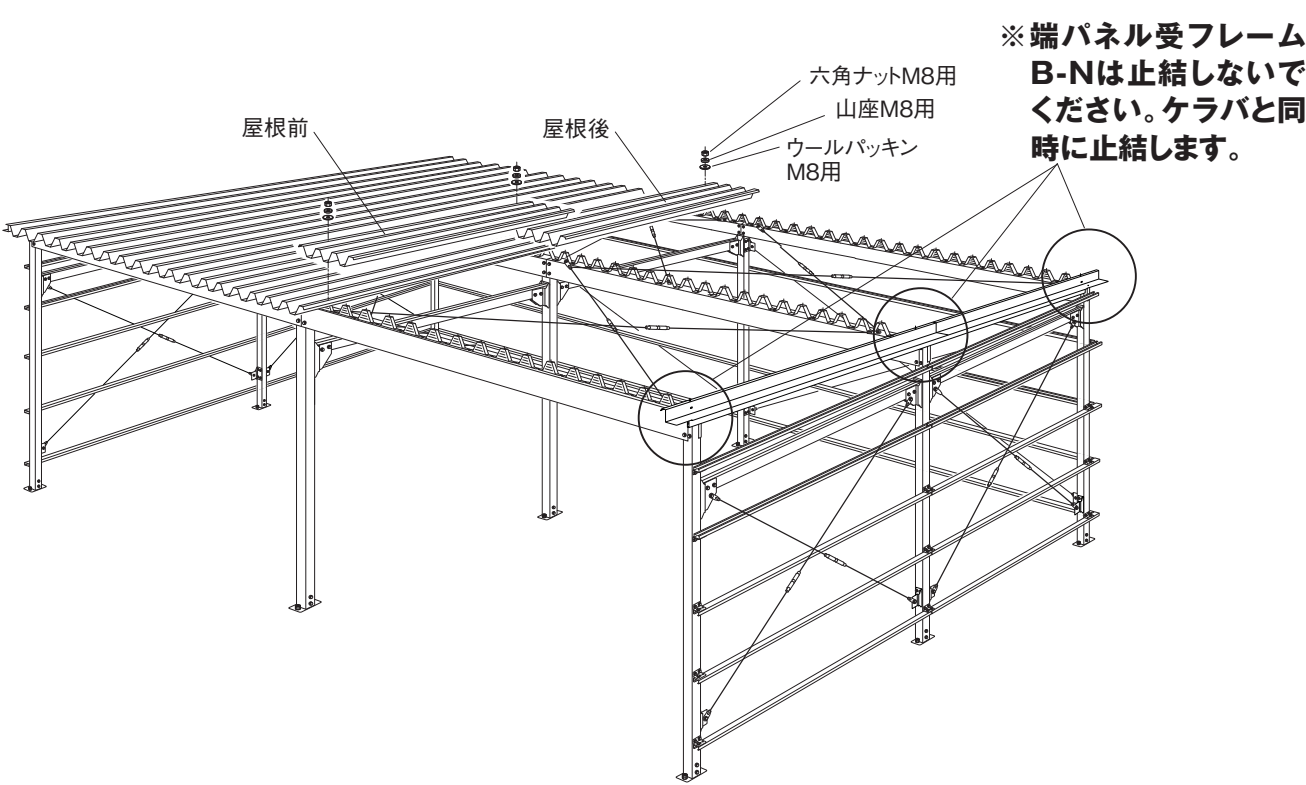
△ 注意

- 屋根に上る場合は、転倒、転落等に十分注意してください。
 - 屋根の重ね部を締結するまで、重ね部には絶対に乗らないでください。
 - 屋根の裏面に柔らかな断熱材が貼ってありますので、キズつけないように取り扱いには十分ご注意ください。
- 断熱材の面を上にして貼る位置を決めてから、ひっくり返して取り付けてください。

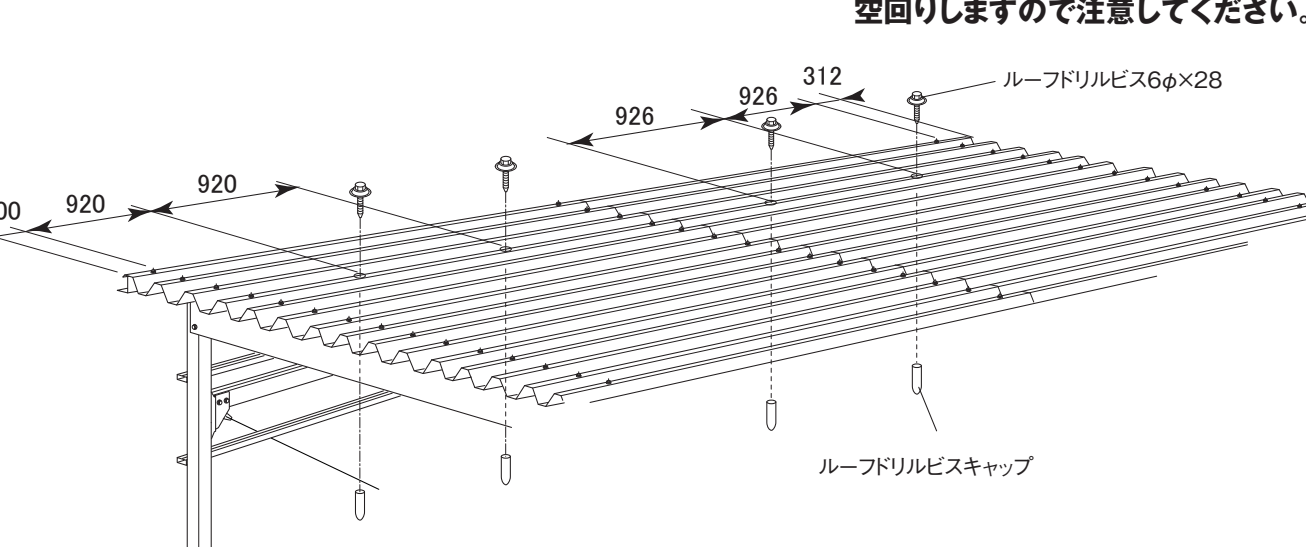


- ③屋根前も同じようにパネル受フレームの剣先ボルトにのせたら、両端部を残し止結します。(ウールパッキンM8用、山座M8用、六角ナットM8用)

注意 屋根をのせたら仮締めし、ブレース等で調整し、倒れ、通り、対角等を正確に出してください。(調整方法は⑧ブレースを参照)調整後、胴縁と屋根を本締めします。



- ④屋根を本締めで固定した後、屋根重ね合わせ中央部をフレーム間で2ヶ所止結します。止結後、室内側よりキャップをかぶせます。(ルーフトドリルビス6φ×28、ルーフトドリルビスキャップ)

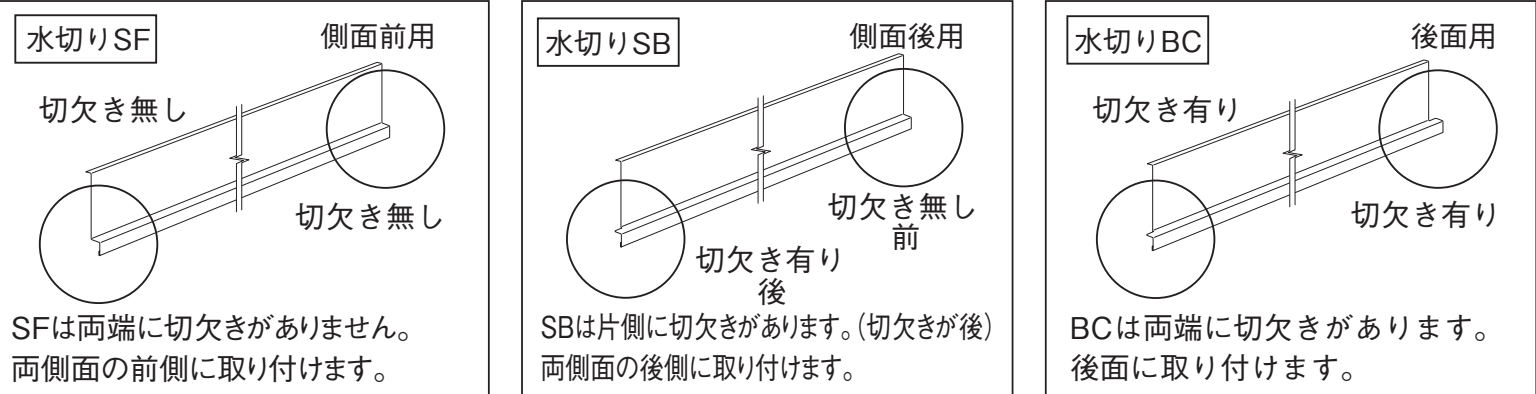


10 水切り及び壁

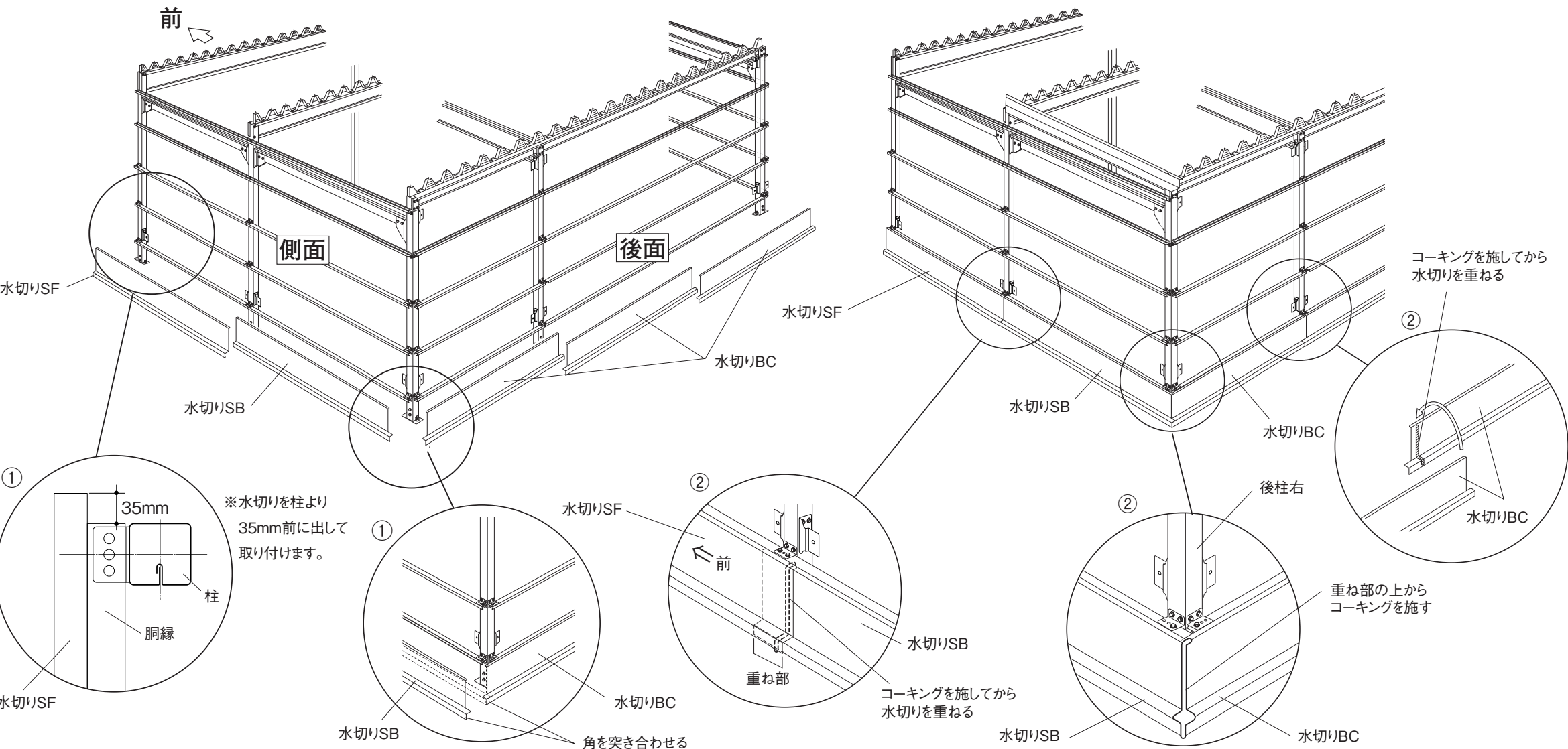
注意 下屋付きの場合、水切りは柱のツラに合わせます。

- ①水切りを一番下の胴縁に仮預けします。水切りBCを後面に配置し、側面後側の水切りSBと角を突き合わせます。水切りSFを側面前側に配置します。

※水切りSFは胴縁より約35mm程度前に出してください。



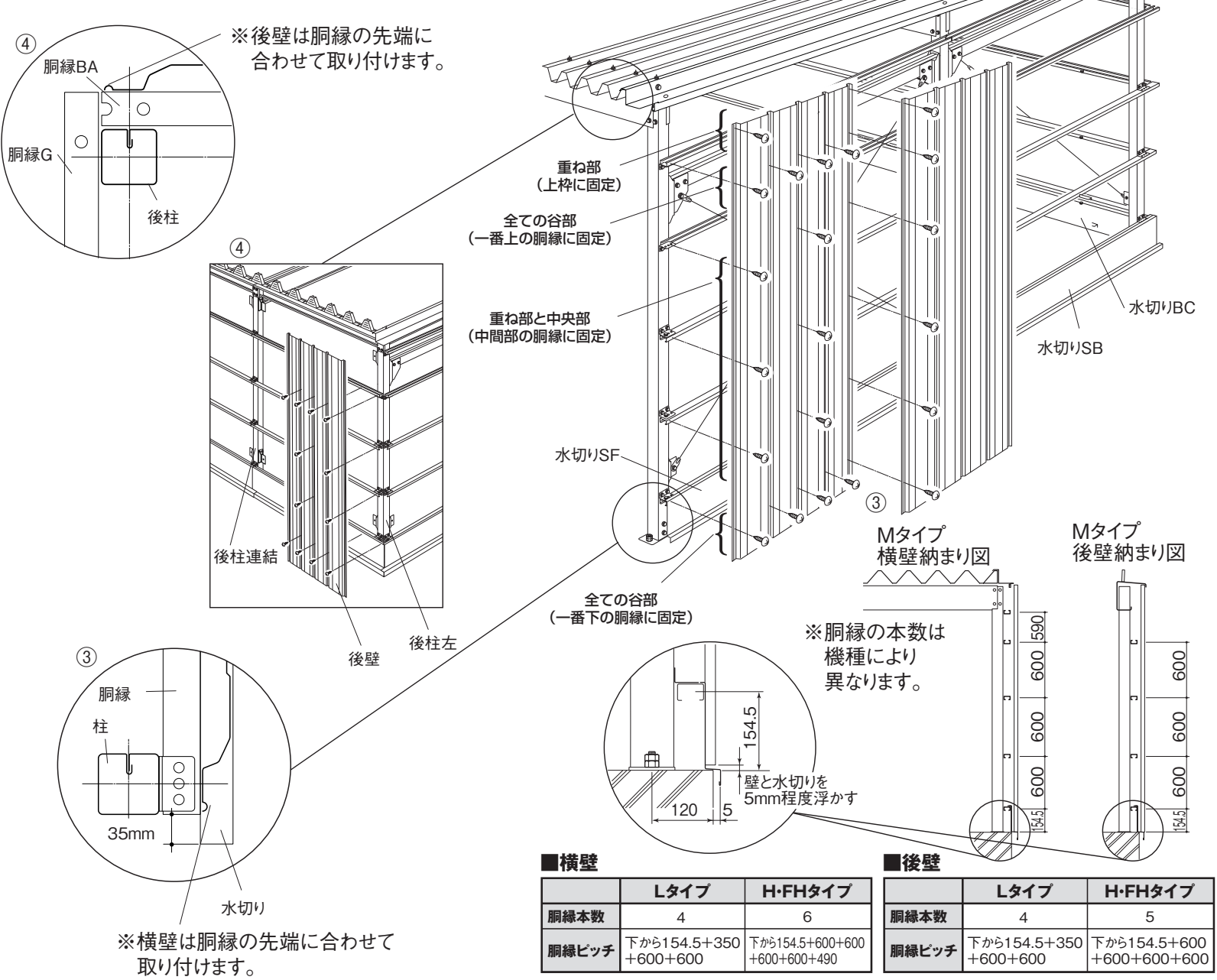
②水切りの重ね部は下図の様にコーキングしてください。



- ③横壁を前から順に胴縁(胴縁A)の先端に合わせ取付けます。(セルフドリルビス4φ×13)
 - ④後壁を正面向かって左側から、胴縁(胴縁BA)の先端に合わせ順に取付けます。(セルフドリルビス4φ×13)
- ※壁のドリルビスは、上枠部は重ね部のみ、一番上と一番下の胴縁部は**全ての谷、それ以外の胴縁部は重ね部と中央部のみの固定となります。いずれも胴縁・上枠内にビスが隠れるように固定してください。**
- ※間口柱芯寸法が壁の幅寸法(800mm)で割り切れない場合、途中で壁の山部(200mm部)を重ねて調整していただく必要があります。(横壁は、奥行きが標準(5500mm)であれば調整は不要です。)
- (例)2800(間口柱芯寸法)÷800=3.5(2山分調整要) (例)5600(間口柱芯寸法)÷800=7(調整不要)

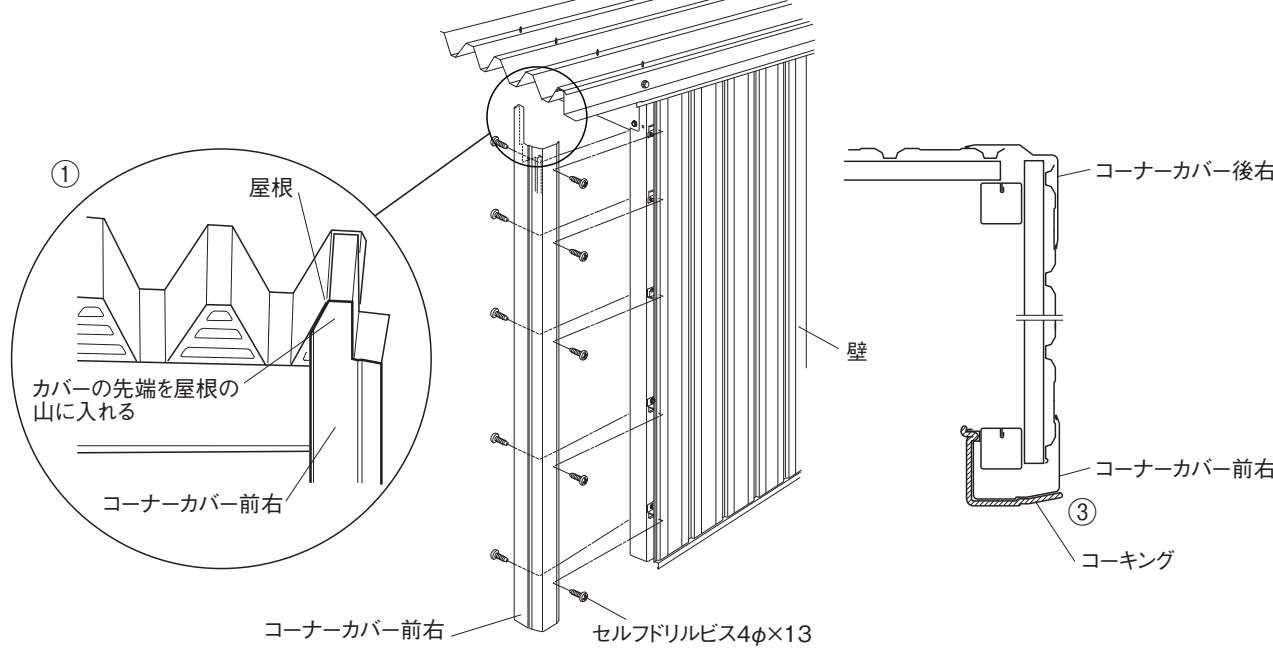
注意 壁を固定するドリルビスは、止める位置を間違えると数が足りなくなる場合がありますのでご注意ください。また漏水の原因になりますので、テックスは必ず真すぐ打ってください。

- ⑤さびの原因になりますので、テックスで固定後、切り粉を除去します。

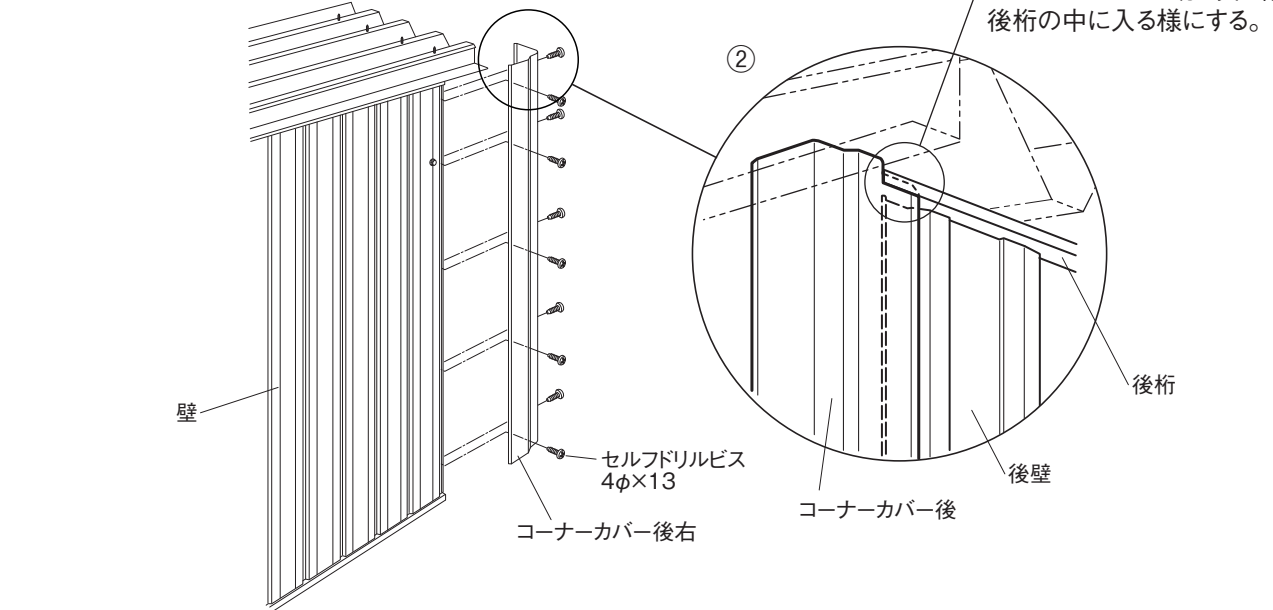


11 コーナーカバー

- ①コーナーカバー前右及び前左を図の様に取付けます。目印孔があいいますので、そこにビスを打って胴縁に固定します。(セルフドリルビス4φ×13)



- ②コーナーカバー後右及び後左を図の様に取付けます。目印孔があいいますので、そこにビスを打って固定します。(セルフドリルビス4φ×13)
- ※コーナーカバー後は取り付けの向きに注意してください。(切り欠きのある方が上で、切り欠きは後折の方にきます。)

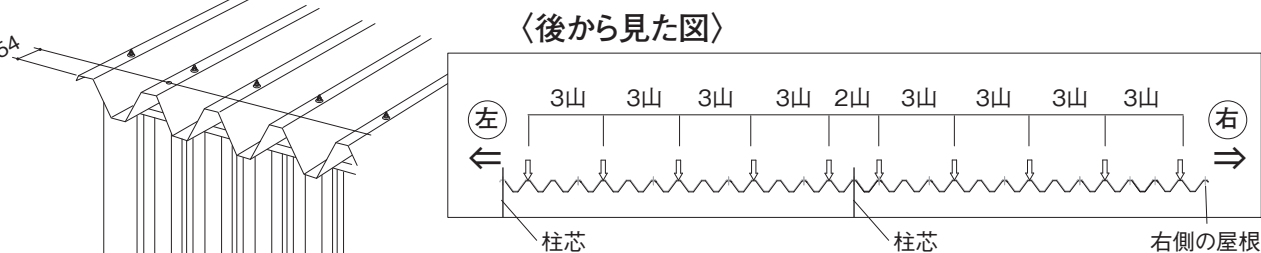


③上図のようにコーキングを行って下さい。

12 トイ

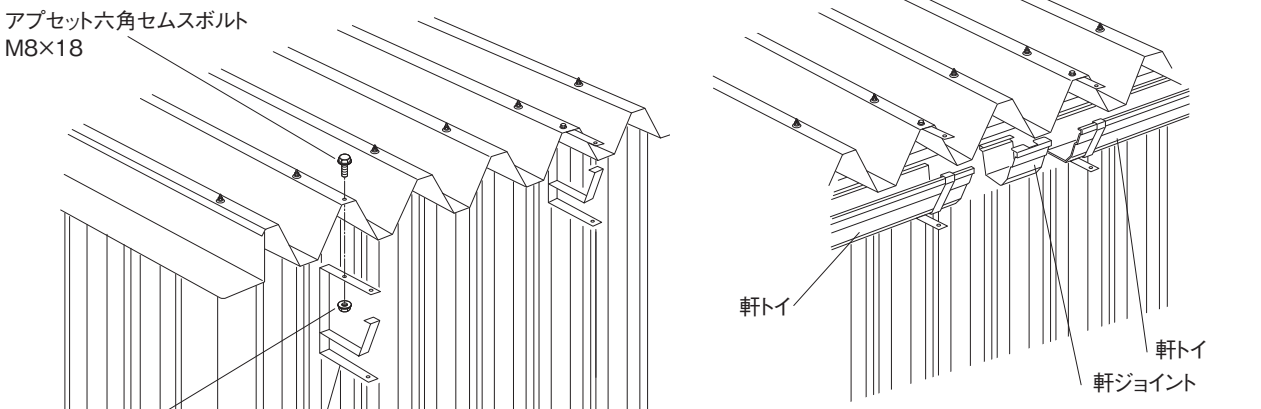
①屋根後部の矢印の位置に10φの孔を明けます。

●注意 孔明け位置を間違えると、鼻隠し後の孔と位置が合いませんので、14鼻隠しを参照し、鼻隠し後を沿えて孔位置を確認してから孔をあけてください。



②軒トイ受金具を屋根にボルト止めします。
(アブセット六角セムスボルトM8×18、六角フランジナットM8用)

③軒トイを軒トイ受金具に取り付けます。
軒トイの継ぎ目は軒ジョイントで継ぎます。



④堅トイ支持金具を右図の位置に壁・胴縁と共締めし、堅トイとエルボを接続します。
(セルフドリルビス4φ×13)

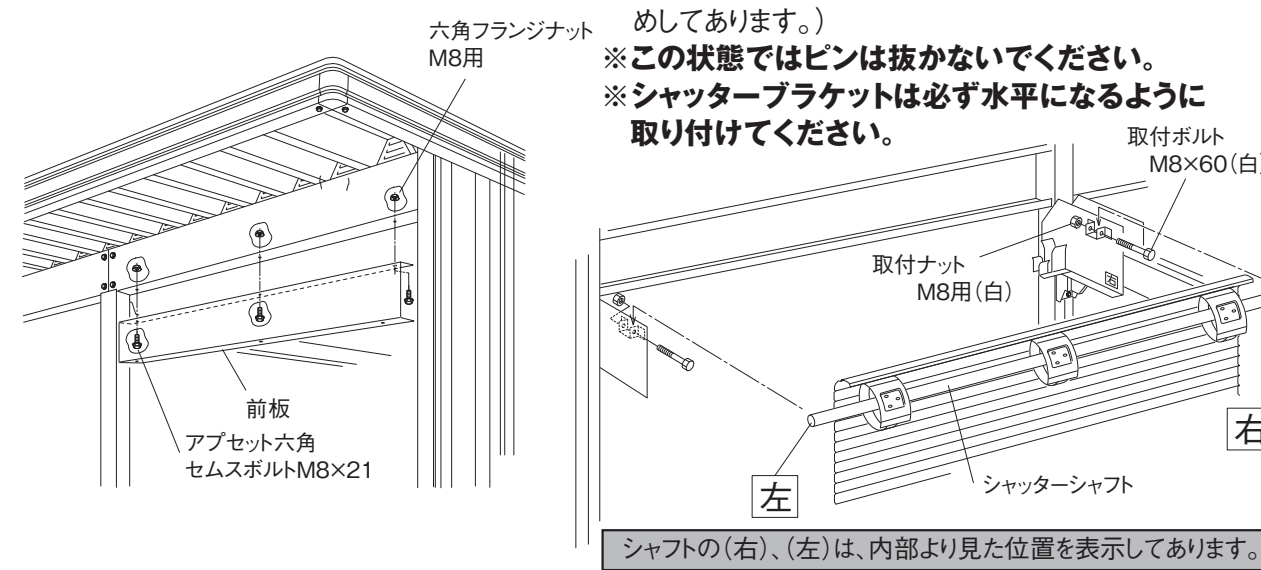
※落し口は、後ろから見て左側に設定されています。右側や中央に変更する場合は、図の様に落し口の部分をカットし、軒ジョイントで接合してください。



15 シャッター

●注意 リモコンシャッターの場合も同様の手順で進めて下さい。ただしシャッターシャフト部の配線はシャッター工事店が行いますので配線部品には触れないでください。

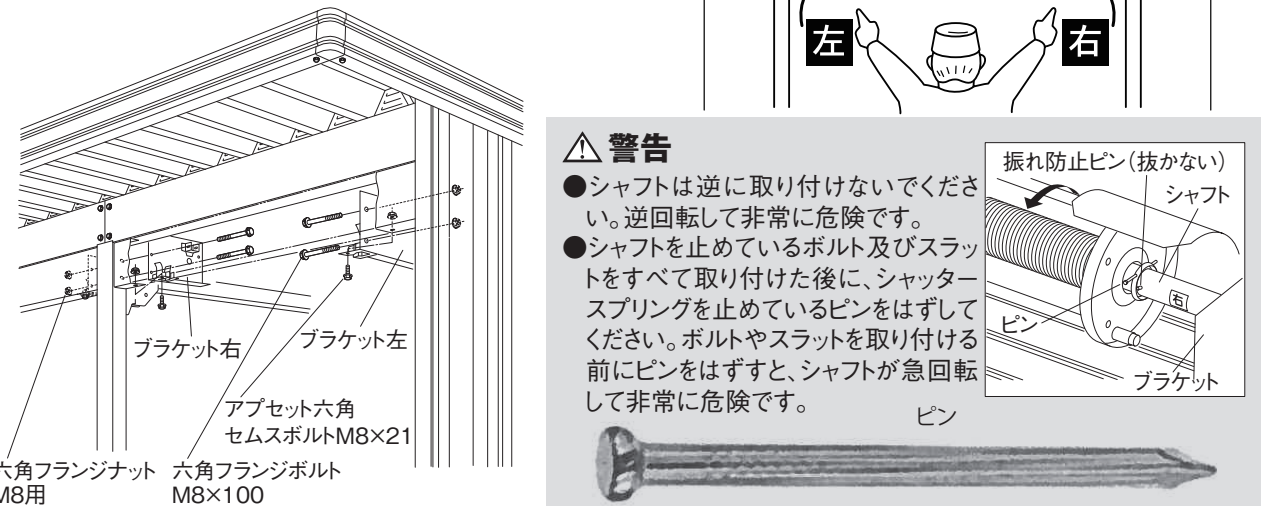
①前板を桁に取り付けます。
(アブセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)



②シャッターブラケット左右を前柱に取り付けます。
(六角フランジボルトM8×100、六角フランジナットM8)

ブラケットの(右)、(左)は、内部より見た位置を表示してあります。取付位置は右図を参照してください。

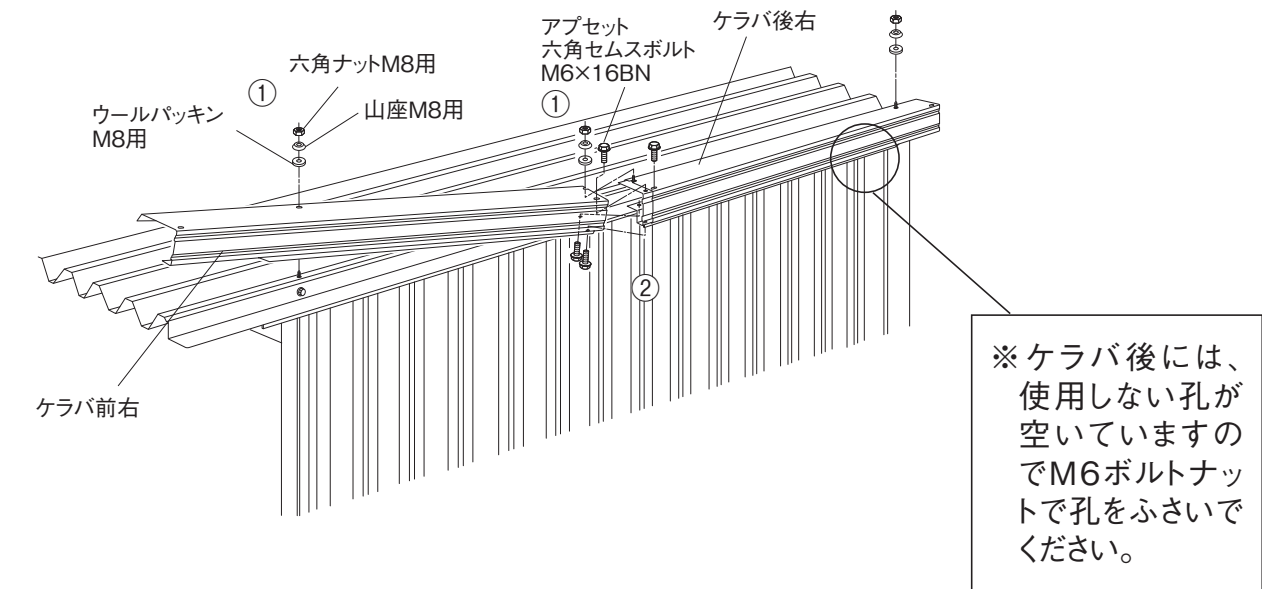
また、ブラケットと前板の下部を固定してください。
(アブセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)



13 ケラバ

①ケラバ前右、後右をパネル受フレームの剣先ボルトに取り付けます。
(ウールパッキンM8用、山座M8用、六角ナットM8用)

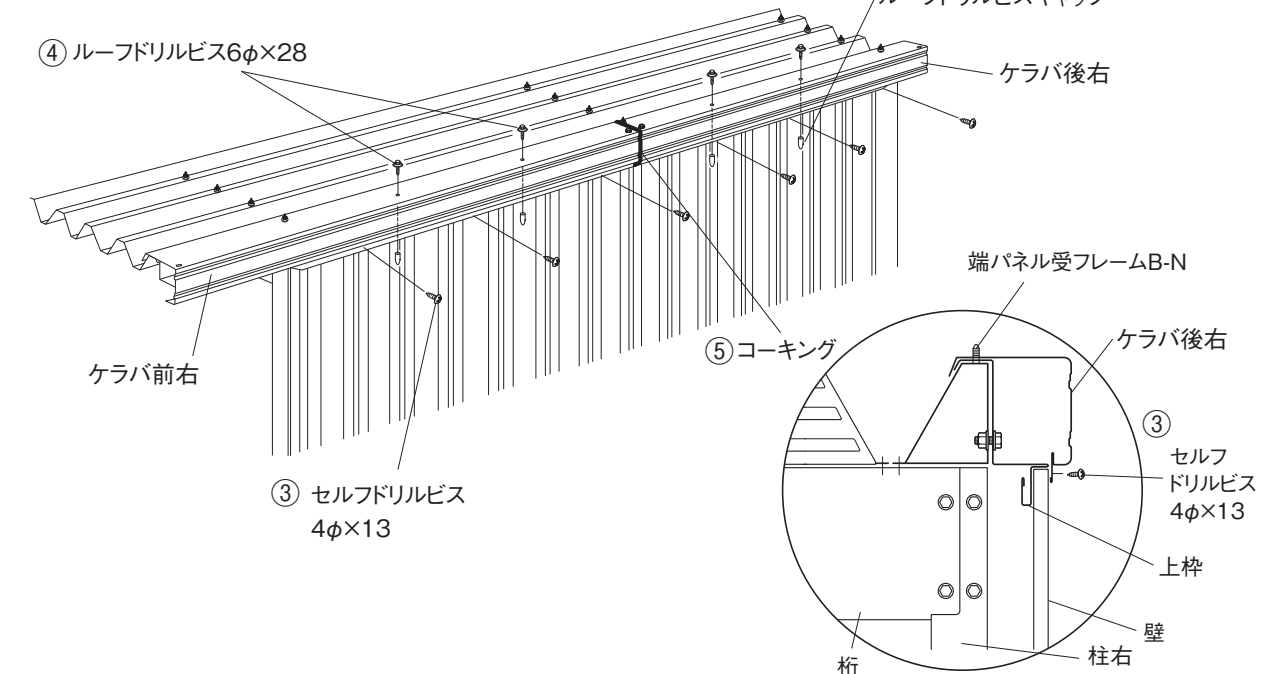
②中央部分はケラバ包み接続金具に差し込み取り付けます。
(アブセット六角セムスボルトM6×16BN)



③ケラバのツブシ曲げの部分を前後各3ヶ所固定します。(セルフドリルビス4φ×13)

④屋根の重ね合わせ部と同様にケラバの中央部をパネル受フレーム間で2ヶ所ルーフドリルビスにて止結します。止結後、室内側よりキャップをかぶせます。
(ルーフドリルビス6φ×28、ルーフドリルビスキャップ)

⑤ケラバ前と後の接続部をコーキングしてください。



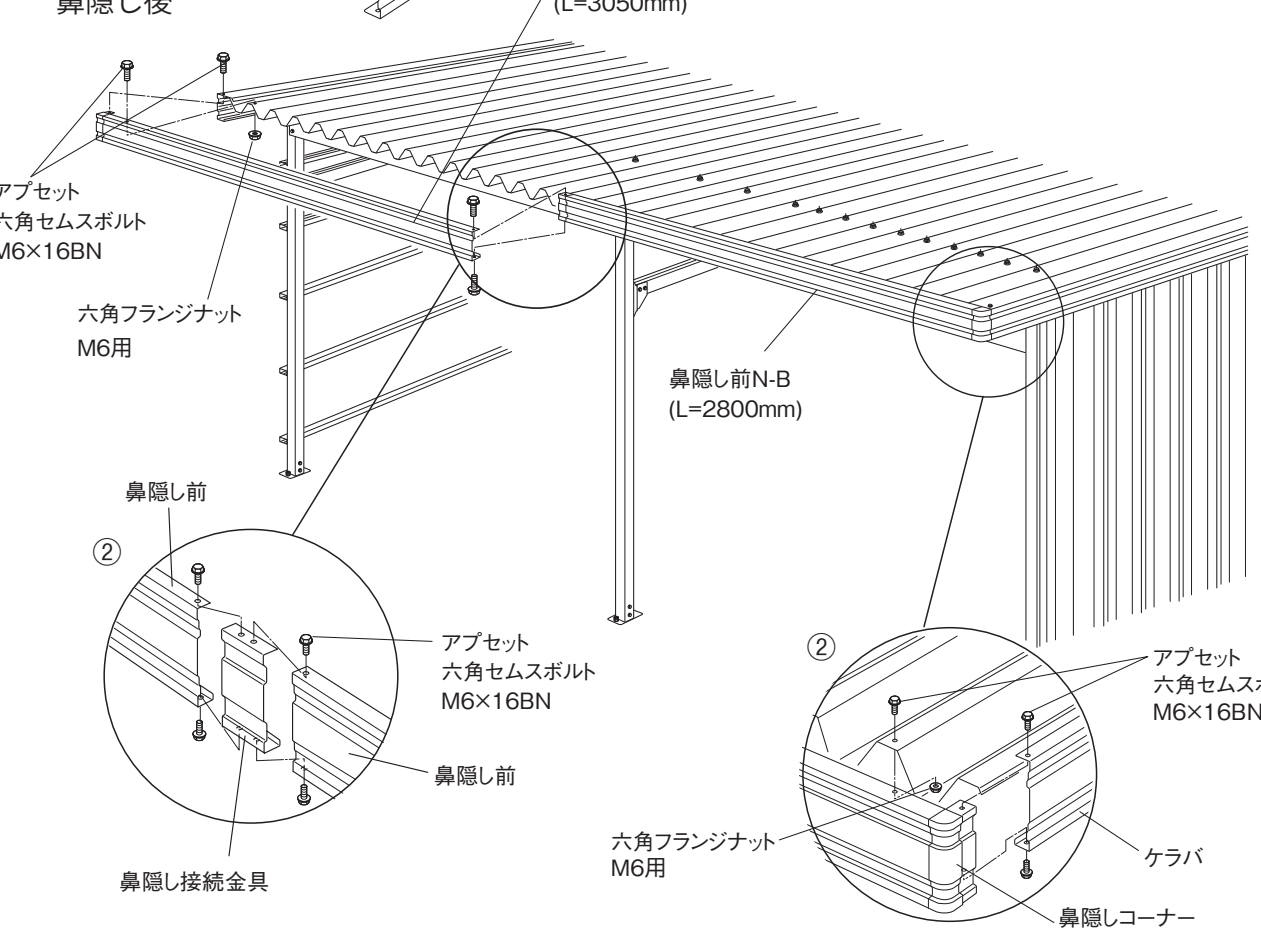
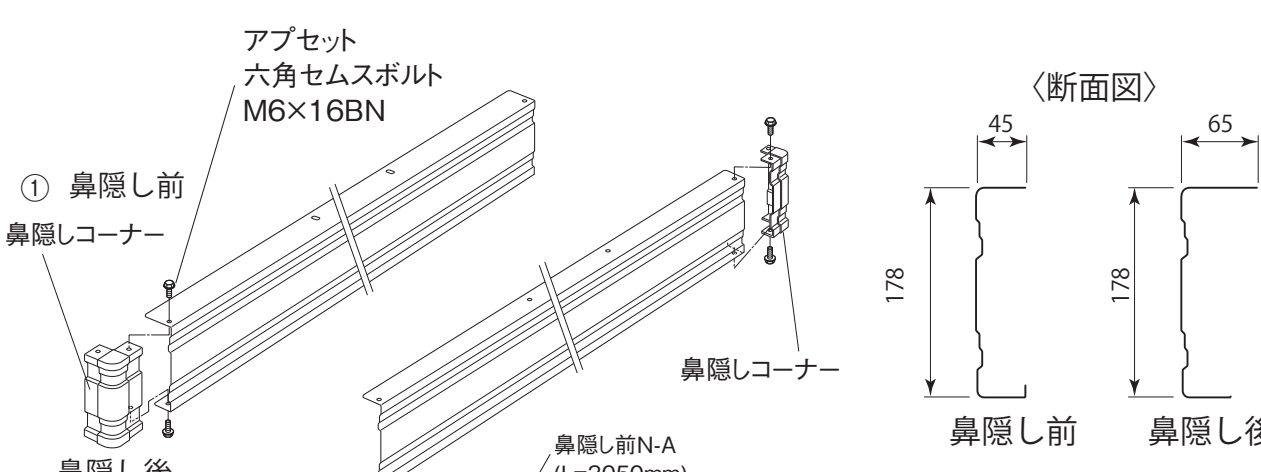
14 鼻隠し

①鼻隠しコーナーを、鼻隠し前・後の両端に取り付けます。
(アブセット六角セムスボルトM6×16BN)

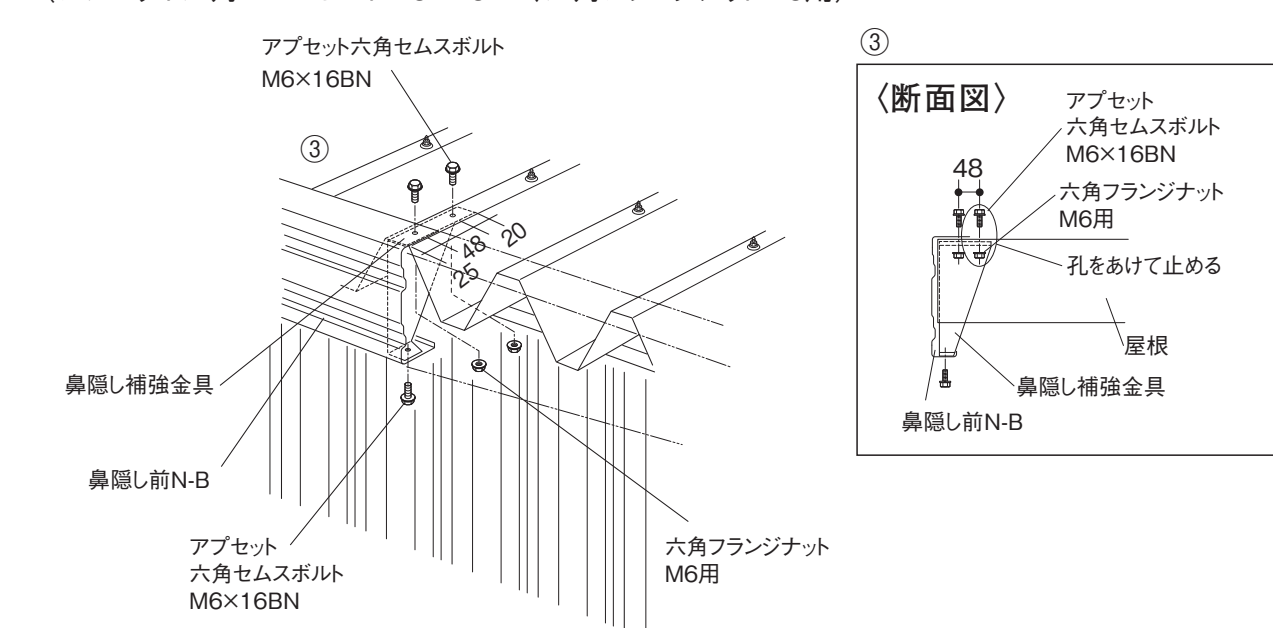
※鼻隠しコーナーの上下の向きに注意して取り付けてください。

②鼻隠し前をコーナーでケラバと接続し、屋根と鼻隠しコーナーにボルト止めします。
(アブセット六角セムスボルトM6×16BN、六角フランジナットM6用)

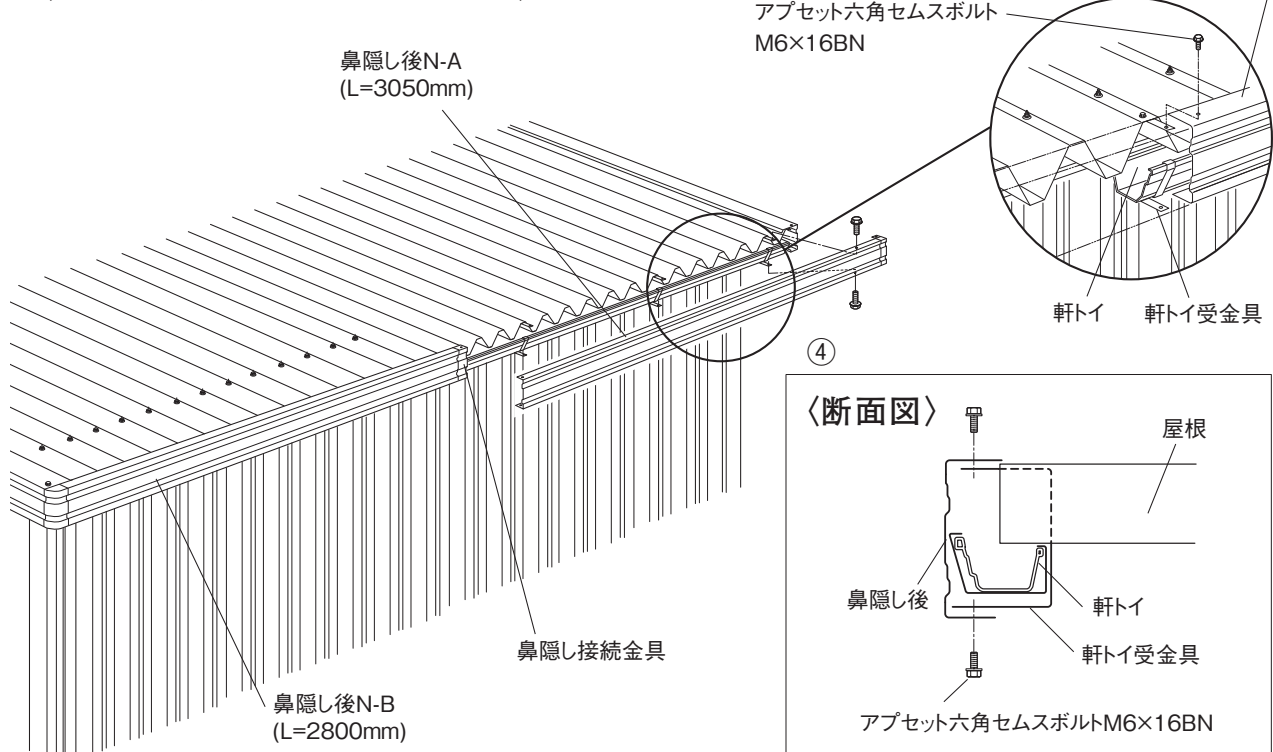
鼻隠し前の継ぎ目は鼻隠し接続金具で接続します。
(アブセット六角セムスボルトM6×16BN)



③鼻隠し補強金具を鼻隠し前N-Bに取り付けます。屋根には、鼻隠し補強金具に合わせて10φの孔を明けてボルトで止めます。
(アブセット六角セムスボルトM6×16BN、六角フランジナットM6用)



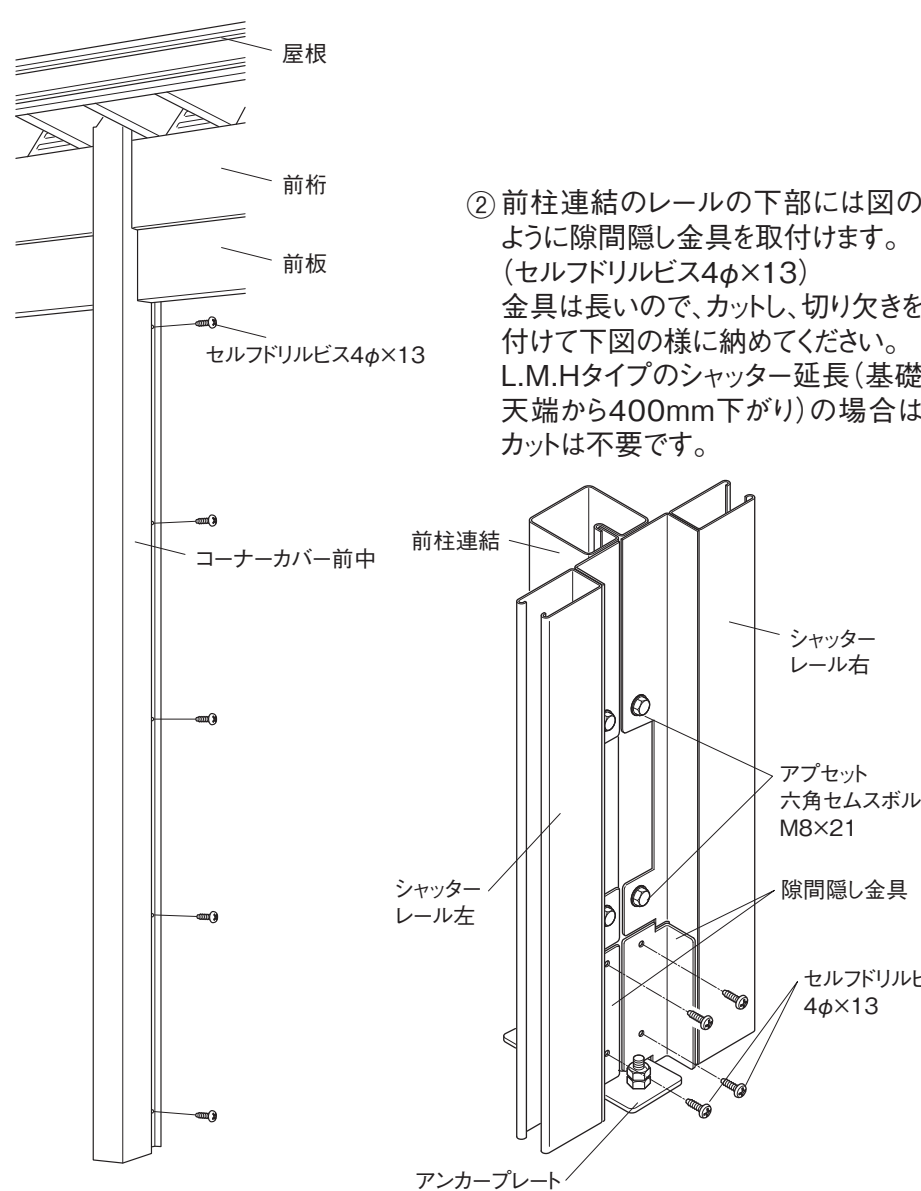
④同じ鼻隠し後をケラバと接続し、軒トイ受金具のタップにボルト止めします。鼻隠し後の継ぎ目も鼻隠し前と同様に接続します。
(アブセット六角セムスボルトM6×16BN)



16 シャッター

16 コーナーカバー前中・隙間隠し金具 (布基礎の場合のみ)

①連棟タイプの場合、最後に前柱連結にコーナーカバー前中を取り付けます。
(セルフドリルビス4φ×13)



以上で完成です。

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

部品箱の中の取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

(SOB-3057) 図

ヨドコウ

SOB-3057_NR_KS_2025A